

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
国語	2・東書 新編 新しい国語	<p>○ 「読むこと」の領域の単元を中心として、小教材で全領域を扱っている。また、学習の手引きで交流活動を取り入れる工夫が見られる。</p> <p>○ 「書くこと」の領域では、さまざまな文章を書く教材が設定されていて、書き方の具体的な例文が示されている。</p> <p>○ 「話す・聞く」では交流活動例が、具体的に示されたり、話合いの進め方が可視化して示されていたりなど工夫がされている。</p> <p>○ 学習のポイントを「学びの扉」や巻末に「学びを支える言葉の力」を配慮し、系統的に繰り返す構成になっている。</p> <p>○ 「読むこと」の領域では、説明的な文章での比べ読みを通して、生徒の多面的な考えを培う教材であり、年表や図、グラフや写真などを対応させている。</p> <p>○ 古典の導入は身近な話題であったり写真が多く掲載されていたり、様々なジャンルの作品が取り上げられ、伝統的な言語文化に親しむことができるよう工夫されている。</p> <p>○ 「学びを支える言葉の力」のページで、読むこと、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域に共通して必要となる基礎的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○ 「学びを支える言葉の力」のページに「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域に共通として必要となる基礎的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○ 自主的・主体的な学習活動ができるよう、「てびき」に目標を示し、「読み取る」「考えを深める」において具体的な視点を設けている。</p> <p>○ 日常生活・社会生活につながり、生徒が主体的・協働的に取り組める言語活動に関する内容が用意されている。</p>